

# リポートニュース

令和8年6月号 NO.289

3月中旬、ディーラー系の工場で「シンナーの供給不足」情報が流れたが、問題意識が薄かったせいで聞き流してしまっただけで、4月中旬には関西ペイントから「中東情勢を背景にしたシンナー製品の出荷統制および価格改正に関するご案内」が流れた。ことすでに遅く、代理店の塗料会社からもシンナーが予定通り納品できない旨の連絡を受けていた。今後は塗料系全般に拡大が予想され、大幅な値上げと安定供給が難しい状況になるとの連絡も入っている。新車ラインや钣金工場の一部では「水性塗料」を使用しているため影響はない!といった情報もあるが、大半の钣金工場では、シンナー系・塗料不足で作業の遅延を招き、整備ではブレーキ関係の一部油脂の不足が深刻で法定車検整備項目の一部が実施不能となり、未整備のまま後日再整備の可能性も出てきています。

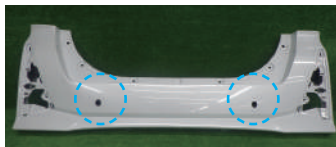
## 豆知識 ダイハツ タントカスタム LA650S (2WD)、LA660S (4WD)、Rバンパーの年式による相違点

後期 (初期)	R4.10 ~ R6.10	中央穴無し
後期 (現行車)	R6.10 ~	中央穴 2ヶ所

・誤発進の抑制センサーの設置で後期より穴が2ヶ所増えた。形状は同一です。



後期 (初期)



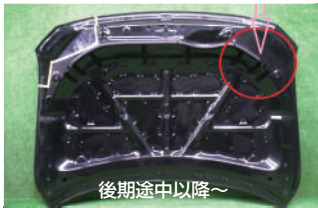
後期 (現行車)

## 豆知識 マツダ CX5 KF2P (2.2 ディーゼル)、KF5P (2.5 ガソリン)、KFEP (2.0 ガソリン) フードの年式による相違点

H29.2 ~ R4.6	インシュレーター (ゴムモール) の取付のクリップの穴が端まである	・形状は同一の為、裏面の穴の位置で判断して下さい。
R4.6 ~	インシュレーター (ゴムモール) の長さが短く、クリップ穴が少なく端までない	



前期から後期中まで



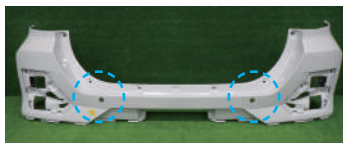
後期中以降

## 豆知識 トヨタ ライズ A200A (1000 2WD)、A210A (1000 4WD)、A201A (1200)、A202A (1200 HV) Rバンパーの年式による相違点

前期 R1.10 ~ R6.11	穴ナシ	・誤発進の抑制センサーの設置で後期より穴が2ヶ所増えた。形状は同一です。
後期 R6.11 ~	穴中央 2ヶ所	



前期



後期

## 車リサイクルの業界紙を読む

業界紙4月号巻頭の言葉：大自然とは、本当に凄いものだとつくづく思います。四季の順番やルールを違えることなく、春夏秋冬は巡り、四月になればきちんと春を運んで来てくれます。私はこうしたことを当たり前と思ってしまうと、自分を戒めています。「当たり前」の反対語は「ありがとう」。この「ありがとう」の心を大事にすることが、毎年めぐってくる季節の美しさを、より深く味わうことにつながるのではないのでしょうか。活発な中古車輸出に押され国内での解体車両の争奪戦が激しさを増している今日だからそのメッセージのようにおもえます。

JAERAニュースレターから一部抜粋

## シンナーの使用量を減らす対策

钣金工場では、修復可能なパネルも新品交換を減らし钣金修理に切り替える傾向が目立ってきています。钣金作業であれば「パネルの裏吹き」も必要なく、部分補修であれば塗料も節約できるということです。こうした作業方法で塗料・シンナーともに使用量を減らす努力が既にディーラー系工場でも始まっています。当社でも入荷したパネルに油性ペンで損傷箇所を表示していましたが、水性ペンに変更してシンナーの節約に努めています。



## ISO9001 8回目の合格証書



2002年に取得した品質マネージメントISO9001の更新審査にパス、4月末に合格書が届きました。取得から足掛け24年、それまでマイナーな再生外装パーツは「リノベートパーツ」と改名、徐々にアフターマーケットでの存在感を増すことができました。「受注待ち営業」からネットを活用した在庫公開の「攻めの営業」への転換は、大きな飛躍のきっかけになりました。こうした背景には、ISOの管理手法を学び、24年間お客様から寄せられた苦情・指摘・改善事項を一つ一つ解決し続けたことです。その成果は商品クレーム率が低下の一途をたどり、R7年度では0.02%まで低減できました。これは社員一丸となりISOに取組んだからこそ出来た数値と考えています。皆さんからの信頼をもっともっと高めるために、さらに努力してまいりますので、ご支援の程よろしく申し上げます。

## 2026年度 パート社員の時給

リノベートパーツの生産から販売までの作業を担っているパート社員数は、全体の46%を占め、生産活動に欠かせない重要な戦力となっています。しかし入社後、家庭の事情などから毎年数人の退職者があり、定期的な補充が欠かせません。一方で諸物価高騰と人手不足から時給相場は毎年上昇、最低賃金の1,141円(埼玉県)をはるかに超え1,300円/時(2026入社時)でどうにか採用にこぎつけられるのが実情です。・入社時の時給アップは、現役のパート時給に連動するため、生産能力の維持と合わせ難しい判断になっています。

## 材料関係の緊急点検

4月中旬、原油の入荷不足により影響を受ける材料のストック状況を緊急調査しました。钣金課、塗装課、ライト課、梱包班の材料調達担当者は在庫量の把握と今後の入荷状況の見通しを納入業者に問合せ情報を集計した結果、各課、2か月程度の在庫量を確保しているようです。しかし3月末に納品予定になっていた材料は、現在も入荷予定が立っていませんので、6月下旬まで続く生産活動に支障が出てきそうです。・それ以前に物流を担う輸送燃料の高騰などは大丈夫なのか?リノベートパーツをお届けするには当社だけの問題に限ったことではないので、一日も早い原油の安定供給が望まれます。



## 電気代の値上げ

これまで小企業向けの電気料金の優遇措置であった高圧電力A(契約電力500kw未満)が2026年3月で終了、今後は高圧電力(契約電力500kw以上)と同じ料金単価が適用され、今回の改正により基本料金1kw当たり1,466円50銭から1,989円の大幅値上げとなった。電力使用料金は若干の値下げがあったものの500kw未満の小さな工場にとっては1kw当たりの電気代が安くなるが、基本料金の値上げ幅に幅に追いつかず実質的には値上げとなる。・こうした電気代の値上げ防衛策は、工場に設置された古い照明器具や古いエアコンなどをエコタイプに変える対策、こまめな節電などを心がけてゆく以外になさそうです。・究極的には作業時間の短縮が最も有効的と思われるが。。



## 消火訓練

今年の春先は降雨量が少なく、乾燥しきった空気が吹き荒れ大規模な山火事が頻発しました。連日放映される山火事のTV映像から危機感を感じ、更新時期を向かえた消火器を使ってさっそく消火訓練を実施しました。はじめはこわごわと遠巻きに見学姿勢を崩さなかった参加者も、簡単操作の消火活動を見て、終盤は全員が消火活動を体験しました。



## 高速道路の連休休日割引サービス中止に思う!

ラジオから「連休中の休日割引サービスは混雑緩和の為、中止させて頂きます」道路公団からのお知らせでした!とメッセージが流れる。これは「値上げの告知放送」かな?と思う。連休中しか休みが取れない「忙しい人」が仕方なく出かけることを考慮したサービスでならば、混雑が予想される連休は、早朝・深夜通行割引の拡大などのサービスの内容を変えることが渋滞緩和にもなるし利用者から歓迎される。要は、渋滞の原因が休日割引サービスの影響でないのに、あたかもこのサービスが原因のように問題をすり替えている点にある。

